

HP UPS R/T2200

インストレーション
インストラクション



© Copyright 2006, 2008 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外で使用される場合は、仕様の変更を必要とすることがあります。

本書に掲載されている製品情報には、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

製品番号 404313-194
2008年8月（第4版）

▲ Important Safety Information

Before installation, read *Important Safety Information* on the Documentation CD. Documentation CD قبل التنصيب، اقرأ معلومات هامة حول السلامة على القرص المضغوط Documentation CD. Před instalací si přečtěte příručku *Důležité bezpečnostní informace* na disku CD. 安裝之前，請閱讀文檔 CD 上的重要安全信息。 安裝前，請閱讀說明文件光碟上的「重要的安全性資訊」。

Læs dokumentet Vigtige sikkerhedsoplysninger på dokumentations-cd'en, før produktet installeres. Lesen Sie vor der Installation die *Sicherheitshinweise* auf der Documentation CD. Enne installimist vt dokumentatsiooni CD-lt peatükki „Tähtis ohutusteave“.

Antes de la instalación, lea la sección *Información de seguridad importante* del CD Documentation. Avant l'installation, lisez les *informations importantes relatives à la sécurité* CD Documentation. Πριν την εγκατάσταση, διαβάστε *Σημαντικές πληροφορίες ασφαλείας* στο CD Documentation. לפני ההתקנה, קרא את המידע הבטיחותי החשוב שב-Documentation CD (תקליטור התייד). Prije ugradnje, pročitajte *Važne sigurnosne informacije* na dokumentacijskom CD-u. Prima dell'installazione, leggere sul CD le *Informazioni importanti sulla sicurezza*. インストール前に、Documentation CDの『安全に使用していただくために』をお読みください。 설치하기 전에 Documentation CD의 주요 안전 수칙을 읽으십시오.

Pirms instalācijas, izlasiet drošības informāciju dokumentācijas CD. Prieš diegdami perskaitykite *Svarbią saugos informaciją* dokumentacijos CD. Teipitēs elōtt olvassa el a dokumentációs CD *Fontos biztonsági tudnivalók* dokumentumát. Lees de *Belangrijke veiligheidsinformatie* op de documentatie-cd voordat u de installatie uitvoert. Les "Viktig sikkerhetsinformasjon" på dokumentasjons-CDen før du installerer dette produktet. Przed instalacją przeczytaj *Ważne informacje dotyczące bezpieczeństwa* na dysku CD Documentation. Antes da instalação, leia as *Informações Importantes sobre Segurança* no CD da Documentação. Перед установкой ознакомьтесь с разделом *Указания по технике безопасности* на компакт-диске «Документация».

Pred inštaláciou si prečítajte časť *Dôležité bezpečnostné informácie* na disku Documentation CD. Pred nameštítvijo preberite *Pomembne varnostne informacije* na CD-ju Documentation. Tärkeisiin turvatietoihin" Documentation CD -levyllä ennen tuotteen asentamista. Läs dokumentet *Viktig säkerhetsinformation* på dokumentations-cd:n innan du installerar denna produkt. Yüklemeden önce, Documentation CD'sindeki *Önemli Güvenlik Bilgileri*'ni okuyun. Перед установкою прочитайте *Важливі відомості з безпеки* на CD документації.

概要

HP UPS R/T2200は、最大2200VA/1600Wの負荷を電源障害から保護します。

このカードで説明する項目については、ドキュメンテーションCDまたはHPのWebサイトhttp://www.hp.com/jp/servers/ups_manageにあるUPSのユーザ ガイドを参照してください。

注意事項

このカードを大切に保管しておいてください。このカードには、UPSとバッテリーの取り付け、操作、およびメンテナンスの際に従うべき安全に関する重要な注意事項が示されています。

▲ **警告：** 高電圧による感電の危険があります。オプションの取り付け、この製品の定期点検および保守については、AC電源製品の取り扱い手順、注意事項、および危険性を熟知している専門の担当者が行ってください。

▲ **警告：** 漏電による感電を防止するために、次の点に注意してください。

- 商用電源との接続が切断されている状態でUPSを操作しないでください。
- UPSと商用電源の接続を切断する前に、負荷装置の接続を切り離してください。

▲ **警告：** けがを防止するために、UPSを搬入する際は、十分なスペースを準備し、ご使用の地域で定められた重量のある装置の安全な取り扱いに関する規定に従ってください。組み立て完了後のUPSの重量は29kgあります。

キットの内容

このキットには、部品によっては余分な数量が含まれている場合があります。必要に応じてご使用ください。

- 『安全に使用していただくために』ガイド
- このカードおよび/またはドキュメンテーションCD
- 保証情報
- UPS
- フロント ベゼル (取り付け済み)
- 角穴および丸穴のラックで使用するマウント用ハードウェア部品付きレール
- ベゼル アセンブリ (Retmaレール カバーおよびロゴ バッジ)
- タワー型用スタンド キット
- 通信ポート/オプション スロット (取り付け済み)
- REPOポート コネクタ ブロック
- シリアル コンピュータ インタフェース ケーブル
- USBコンピュータ インタフェース ケーブル
- RJ-11電話ケーブル

HP Enterprise Infrastructure Solutions Management Pack CDがある場合は、このCDを使用してHP Power Managerソフトウェアをインストールしてください。HP Power ManagerソフトウェアおよびUPSファームウェアの最新バージョンをダウンロードするには、HPのWebサイト http://www.hp.com/jp/servers/ups_manageを参照してください。

必要な工具

- プラス ドライバ (No.2)
- トルクス ドライバ (T-20)

設置場所の選定

警告： 火災や感電を防止するために、装置は温度および湿度調整が行われ、導電性の汚染物質のない室内に設置してください。

設置場所を選定する際は、次の要因を検討してください。

- 動作時の周囲温度の上昇 - ドアを閉じたラックや多くの装置が搭載されたラックに装置を取り付けると、動作時のラック環境の周囲温度が室温を超えることがあります。装置は動作温度の要件に準拠する環境に取り付けてください。
- 通気性の低下 - ラック内部で、装置の安全な動作に必要な換気を確保できるようにしてください。
- 回路の過負荷 - 装置の供給回路への接続について検討してください。また、回路が過負荷状態になったとき過電流保護機能および配線に及ぼす影響に注意してください。この問題に対応する際は、装置の銘板に記載されている定格に基づいて適切な判断を行ってください。
- 信頼性のあるアース接続 - ラックマウント型の装置は、必ず、信頼できる方法でアースしてください。延長コードの使用など、分岐回路に直接接続する以外の方法を使用する場合は、その接続部に特に注意を払ってください。

- 電気要件 - UPSのすべてのモデルで、ユーザガイドの「入力仕様」で説明されている各UPSの定格に準拠する専用 (非共有) 分岐回路が必要です。

装置の準備

- 梱包箱に添付のラベルに記載されているバッテリーの再充電日を調べます。



重要： 再充電日付を過ぎたバッテリーを使用しないでください。バッテリーを再充電せずにバッテリー再充電日付ラベルに示されている日付を過ぎた場合は、HPのサービス窓口にご連絡ください。

- 装置を梱包箱に入れたまま、設置場所に搬入します。
- ラックに近い場所で装置を開梱し、装置を組み立てます。

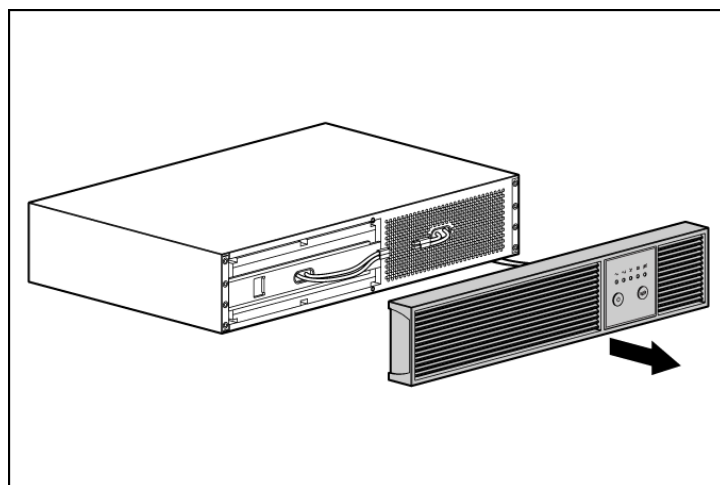


注意： 必ず、一番重いものをラックの最下段に置いて、下から上に順に取り付けてください。

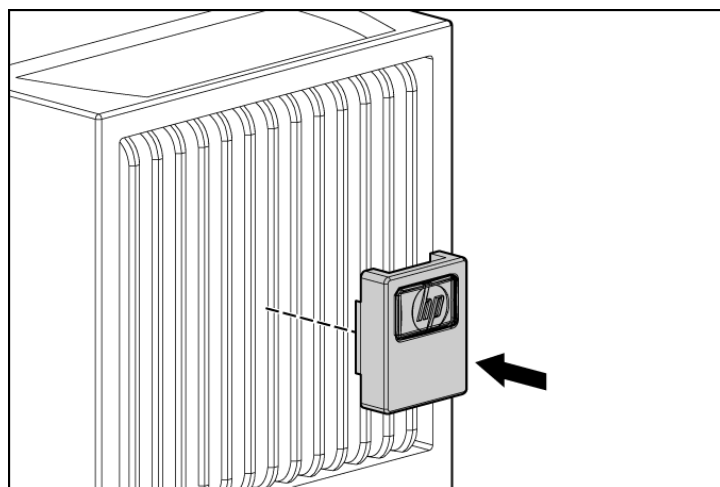
UPSの取り付け (タワー型)

装置を取り付ける前に、「注意事項」をよく読んで、記載されているすべての警告事項に従うようにしてください。

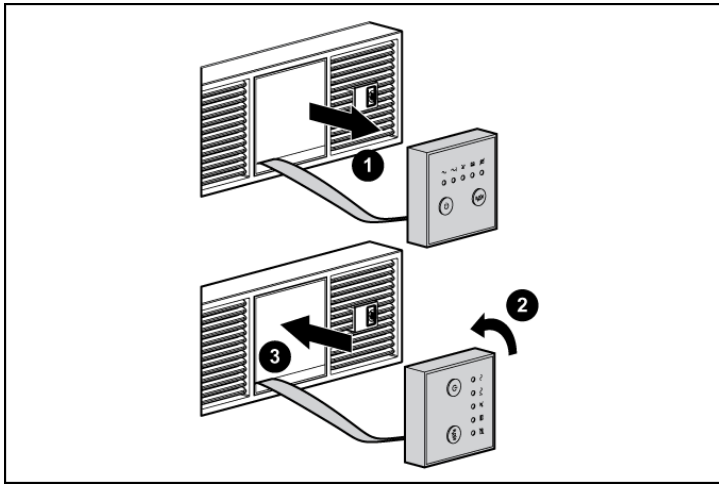
- UPS用フロント ベゼルを取り外します。



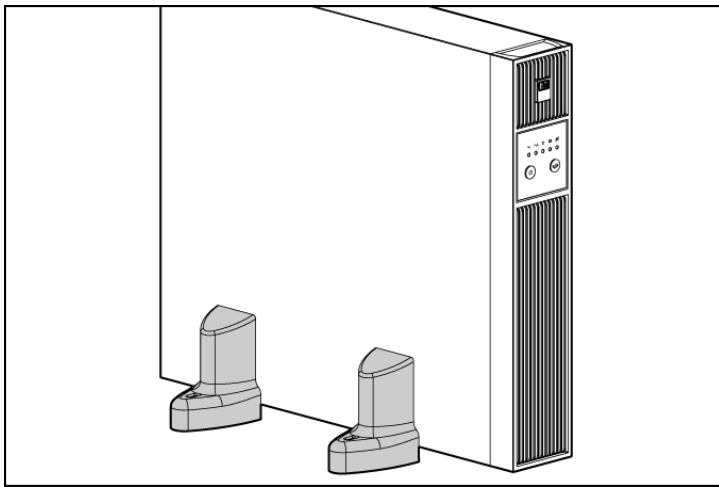
- LED/コントロールパネルの上部に、ロゴ バッジを取り付けます。



3. ベゼルの内側から、LED/コントロールパネルを静かに押し出して、90度回転させ、ベゼル内に戻します。



4. フロントベゼルの元に戻します。
5. LED/コントロールパネルが上になるようにして、装置を横向きに立てます。



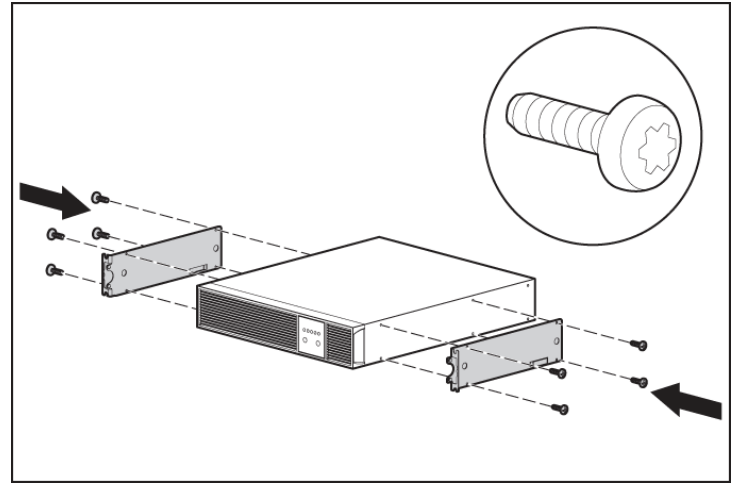
UPSのラックへの取り付け

装置を取り付ける前に、「注意事項」をよく読んで、記載されているすべての警告事項に従うようにしてください。

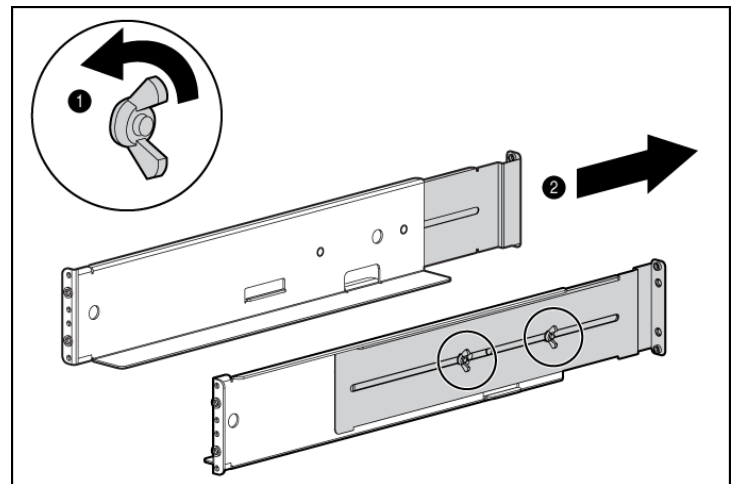
- ⚠ 警告：**けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。
- ラックの水平脚を床まで延ばしてください。
 - ラックの全重量が水平脚にかかるようにしてください。
 - 1つのラックだけを設置する場合は、ラックに固定脚を取り付けてください。
 - 複数のラックを設置する場合は、ラックを連結してください。
 - コンポーネントは一度に1つずつ引き出してください。一度に複数のコンポーネントを引き出すと、ラックが不安定になる場合があります。

注：角穴および丸穴のラックで使用するマウント用ハードウェアは、UPSキットに付属しています。

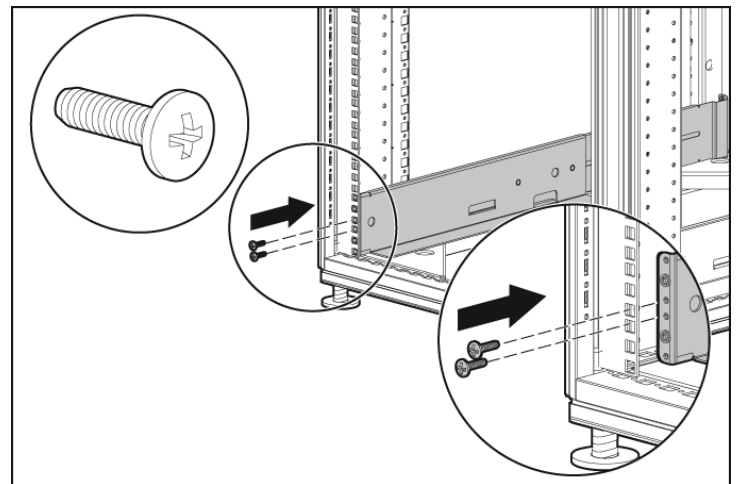
1. 2Uサイドマウント用ブラケットを、装置に取り付けます。



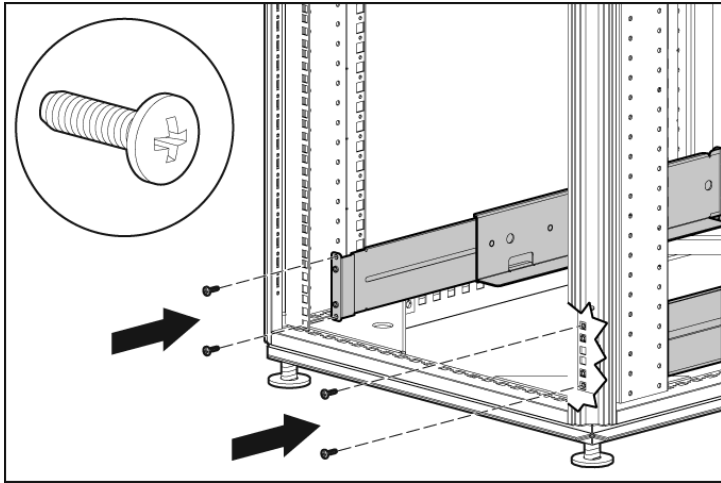
2. ウィングナットを緩めて、ブラケットを希望する長さまで引き出します。



3. ネジをラックに通して、マウンティングレールと各マウンティングブラケットの正面側に差し込みます。ネジは完全には締めないでください。



4. ネジをラックに通して、マウンティングレールと各マウンティングブラケットの背面側に差し込みます。ネジは完全には締めないでください。



5. 装置を取り付け、ブラケットを調整してから、ネジを締めます。
6. ウィングナットを締めます。

警告： ラックに装置をバランスよく配置しないと、危険な状態が発生する可能性があります。

注意： 必ず、一番重いものをラックの最下段に置いて、下から上に順に取り付けてください。

7. 両側に1人ずつ立って、本体をレールの高さまで持ち上げ、スライドさせてマウンティングレールに取り付けます。
8. 付属のネジを使用して本体をラックに取り付けます。

バッテリーの接続

警告： この装置には、密閉式鉛蓄電池モジュールが入っています。発火や化学火傷を防止するために、次の注意事項を守ってください。

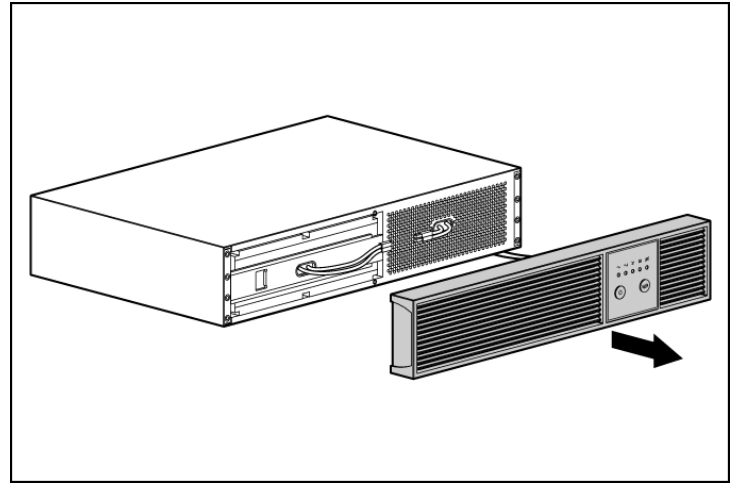
- 装置から取り外した後のバッテリーを再充電しないでください。
- バッテリーを分解したり、つぶしたり、穴を開けたりしないでください。
- バッテリーの外部端子をショートさせないでください。
- バッテリーを水に浸けないでください。
- 40°C以上の高温にさらさないでください。

警告： 高電圧による感電を防止するために、次の点に注意してください。

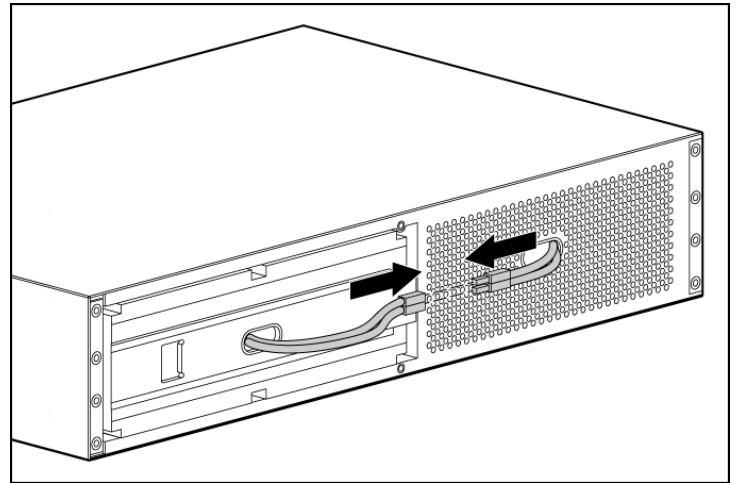
- 腕時計、指輪、またはその他の金属製の装身具を外してください。
- 絶縁材でできた持ち手のある工具を使用してください。
- バッテリーの上に工具や金属製の部品を置かないでください。

重要： 以下の作業を実行する前に、装置の電源を切り、商用電源から切り離してあることを確認してください。

1. UPS用フロントベゼルを取り外します。



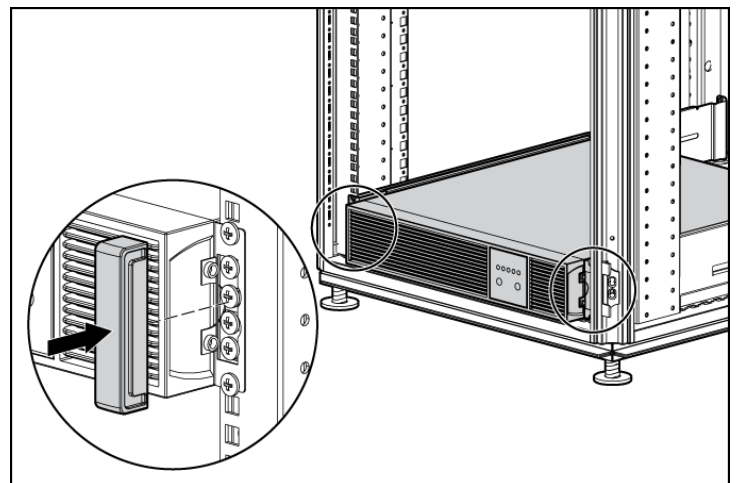
2. バッテリーのリード線をバッテリー端子に接続します。



注： バッテリーを接続する際に、多少のアーク放電が発生することがあります。これは正常な現象であり、装置が損傷したり安全上の問題を示したりするものではありません。

3. UPSのフロントベゼルを元に戻します。
4. RETMAレールカバーを取り付けます。

注： HPロゴと製品名は、RETMAレールカバーに印刷されています。したがって、HPロゴバッジはタワー型での取り付け/設定のみに使用されます。



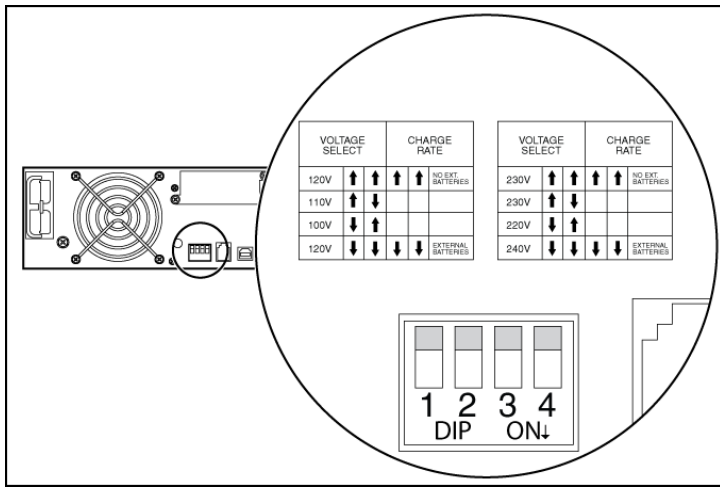
UPSの電圧設定の選択

重要：日本における標準の入力電圧は100Vとなります。下の表を参照して、出力電圧が100Vの場合のDIPスイッチの設定を行ってください。小さな工具を使用して、UPSのリアパネルおよび次の表に記載された必要な電圧設定および充電率に従って、DIPスイッチの位置を変更します。

ERMを使用する場合は、バッテリー充電レベルスイッチ（DIPスイッチ3）を下に設定し、UPSの充電器の出力を増加させ、より早くERMIに充電が行われるようにしてください。

△ 注意：ERMを接続していない状態で、バッテリー充電レベルスイッチを下に設定しないでください。UPSの内部バッテリーシステムを損傷する可能性があります。

注：DIPスイッチ4は非アクティブであり、設定位置にかかわらず、UPSの動作には影響しません。



注：アスタリスク（*）は、デフォルト設定を示します。

	出力電圧	入力電圧範囲	DIPスイッチ1	DIPスイッチ2	DIPスイッチ3	DIPスイッチ4
R/T2200	110V	99～116V	上	下	—	—
	100V*	90～106V	下	上	—	—
	120V	108～127V	下	下	下	下

ホストコンピュータの接続

△ 注意：通信ポートとホストコンピュータとの接続には、UPSに付属のコンピュータ インタフェース ケーブルのみを使用してください。

△ 注意：USBシリアルコンバータ ケーブルを使用すると、UPSが損傷する場合があります。

UPSに同梱のUSBケーブルまたはDB9シリアル ケーブルを使用して、UPSをホストコンピュータに接続します。HP Power Managerバージョン4.1以上をホストコンピュータにインストールします。HPのWebサイト http://www.hp.com/jp/servers/ups_manage を参照して、最新バージョンのHP Power Managerをダウンロードしてください。

重要：HPPMを使用する場合は、マネジメント サーバを、アンスイッチドの出力ソケットに接続し、最後にシャットダウンされるデバイスとして設定して、接続されたすべてのロード デバイスが正常にシャットダウンされるようにしてください。

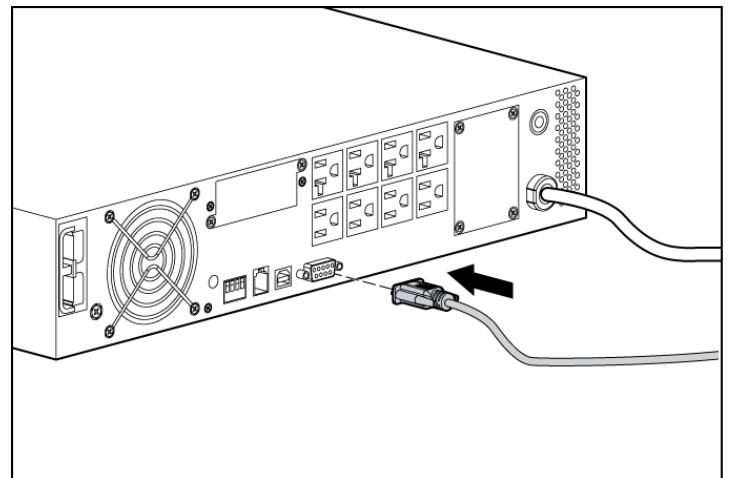
注：ソフトウェアのインストールと設定については、ソフトウェアのユーザガイドを参照してください。ソフトウェアのユーザガイドは、HPのWebサイト http://www.hp.com/jp/servers/ups_manage からダウンロードできます。

シリアル通信ポートの接続

△ 注意：通信ポートとホストコンピュータとの接続には、UPSに付属のコンピュータ インタフェース ケーブルのみを使用してください。

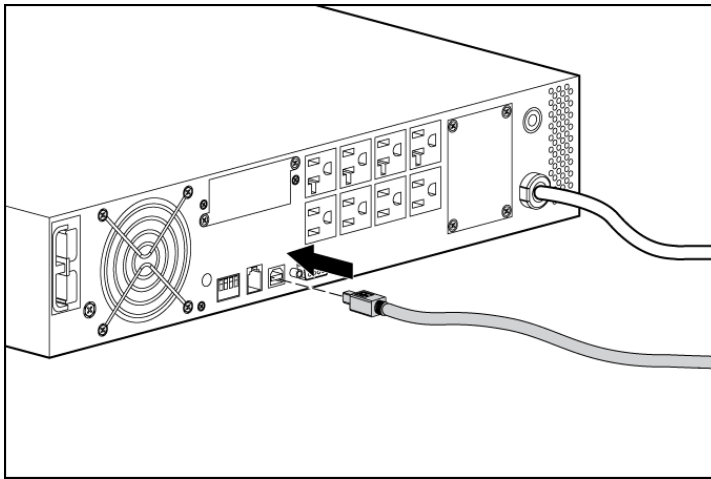
△ 注意：USBシリアルコンバータ ケーブルを使用すると、UPSが損傷する場合があります。

重要：パワー マネジメント ソフトウェアを使用する場合は、通信ポートをホストコンピュータに正しく接続する必要があります。



USB通信ポートの接続

△ 注意：USBシリアルコンバータ ケーブルを使用すると、UPSが損傷する場合があります。



アース用ケーブルの接続

アース用ネジは、導線の取り付け位置に使用します。ラックに、アースされていない金属部品をアースするための導線がある場合、アース用ケーブルを使用してください。

アース用ケーブルは含まれていません。

UPSの商用電源への接続

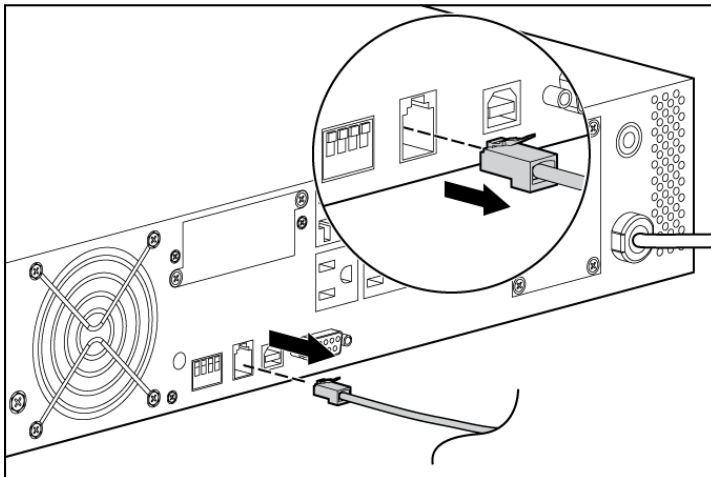
⚠ 警告：感電や装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- 入力電源コードは、簡単に手の届くところにある装置付近のアース付きコンセントに接続してください。
- 入力電源コードのアース付きプラグは必ず使用してください。アース付きプラグは、安全上重要な機能です。
- 延長コードは使用しないでください。

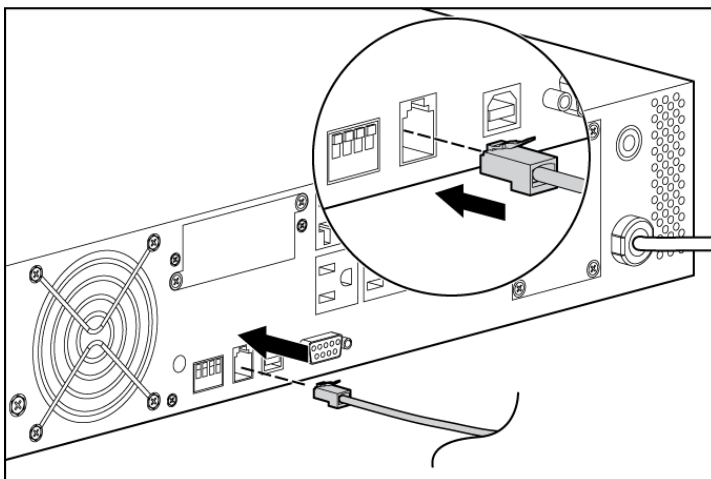
REPOポートの接続

⚠ 警告： NEC (NFPA 70) の第645-10条および第645-11条の要件を満たすには、コンピュータ室に設置されたUPSを、REPO回路に接続する必要があります。

🔧 重要： 出力ソケットに電力を供給できるようにするには、リモートスイッチをオフ（オープン）の位置に設定しておく必要があります。



注： コネクタブロックの配線には、非シールドより線（AWG #22～#18あるいはその同等品）を使用してください。



1. UPSの電源コードをアース付き商用電源コンセントに接続します。UPSを接続すると、バッテリーの充電が始まります。装置の電源を入れるまで、サージおよびバッテリーバックアップ用に指定された出力ソケットで電力は提供されません。

ソケット制御について詳しくは、ユーザガイドの「電源管理」を参照してください。

UPSへの装置の接続

⚠ 注意： UPSの出力ソケットに、レーザープリンタを接続しないでください。レーザープリンタは瞬間的に電流を消費するため、UPSが過負荷になる可能性があります。

装置を接続する前に、装置の定格がUPSの容量を超えていないかどうかを調べて、UPSが過負荷にならないことを確認します。装置の定格がアンペアで記載されている場合、アンペアの数値に100を掛けて、ボルトアンペアの値を調べてください。

UPSが過負荷にならないことを確認したら、装置の電源コードを、UPSのリアパネルにある出力ソケットに接続してください。

UPSバッテリーの充電

UPSの運用を開始する前に、バッテリーを充電してください。

🔧 重要： バッテリーを使用して装置へのバックアップ電源を供給する前に、少なくとも24時間充電してください。バッテリーの充電状態は次のとおりです。

- 4時間以内に容量の90%
- 24時間以内に容量の100%

UPSの電源投入

UPSからピーブ音が鳴るまでPower On/Standbyボタンを押し続けます。
電源LEDが緑色で点灯し、UPSの出力ソケットで電源が供給されている
ことが示されます。

